



tasar

104

Japan Tasar Assocation
<http://www.tasarjapan.org/>

Tasar News Letter
Vol.104
Oct. 2017



Tasar World Championship 2017 © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

TASAR WORLD CHAMPIONSHIP 2017 / 2017年テザー級世界選手権大会が愛知県蒲郡市の豊田自動織機海陽ヨットハーバーにて開催されました (2017年7月30日~8月6日)

CONTENTS

蒲郡ワールドが残したもの	1
2017 年度上期活動報告・スケジュール.....	2
日本テザー協会 2017 年度年次総会開催および次期会長選のご案内.....	3
山下栄輝さん、ありがとうございました.....	3
クラスルール改正にかかる投票に関するご案内	4
特集：世界選手権大会デイリーレポート集～蒲郡の熱い日々～	5
2017 年度上期レースレポート	17
2017 年度上期成績一覧（巻末添付）	（巻末）
TASAR WORLD CHAMPIONSHIP 2017 成績表	（別添）
レース公示（第 32 回全日本選手権大会）	（別添）

蒲郡ワールドが残したもの

会長

田中 郁也

一大イベントとして取り組んできた蒲郡ワールドが終わりました。開催候補地の調査から始まった準備作業は3年半にわたりました。この間のテザー協会理事、サポートスタッフ、フリートキャプテン、ワールド準備委員会の皆さんによる様々な取組が実を結び、大会を滞りなく終えるとともに、ワールドホスト国の責務を果たすことができました。各位のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

蒲郡ワールドには海外4か国から40艇の参加がありました。とりわけ豪からは33艇と過去最大の選手団の参加があり、豪、米の参加チームには5組8名のワールドチャンプを含む豪華な顔ぶれが揃いました。日本からも57艇と多くの参加があり、レギュラー組に加えて、他のクラスで活躍している選手も多く参加され、テザーの面白さを実感してもらえたものと思います。

不順な天候や台風の影響も心配されましたが、幸いにも天気はもって良い風に恵まれました。愛知県ヨット連盟の皆さんによるパーフェクトなレース運営のもとで、5日間で11レースを実施できました。1レース1時間以上、12時間近くもレースを行ったわけで、大変疲れましたが、同時に充足感も感じました。海上、陸上で大会運営に当たられた皆様に深く感謝します。

さて、首題のワールドが残したもの…。たくさんあると思いますが、ひとつは「ご縁」だと思います。二百数十名の選手とその関係者、大会運営に携わられた方々、交流事業などの関連行事でご協力を頂いた方々との「ご縁」は、将来にわたりテザー界の財産になるのではないかと思います。この「ご縁」の中から、テザーというボートの面白さや、レースの醍醐味とイベントの両方を楽しめる手作り感あふれるワールドなどクラスの魅力にふれて、多くの「テザーファン」が生まれることを期待しています。

今回の蒲郡ワールドでは、日本の精鋭がチーム力を研ぎ澄まして海外勢に挑みました。残念ながらワールドチャンプ誕生の目標は果たせませんでした。これからその差を埋めるための研鑽を続けていきましょう。J. マッキー氏のセミナーやワールドでのセーリング映像を見て研究し、乗り込もうというモチベーション、次の英国ワールドに出場しようという気持ち、これらも蒲郡ワールドが残してくれたもののひとつだと思います。

これからも大いにテザーを楽しみましょう。

活動報告

協会公式イベント

2017 年度上期（4 月～9 月）は、下記の公式イベントを実施しました。

JTA 公式レース

- ・ スプリングレガッタ （葉山 / 2017 年 4 月 29-30 日/ 参加 35 艇） 優勝 高橋 / 杉浦組
- ・ アーリーミッドサマー （江ノ島 / 2017 年 5 月 28 日 / 参加 25 艇） 優勝 佐藤 / 村岸組
- ・ 西日本選手権 （芦屋 / 2017 年 7 月 9 日 / 参加 22 艇） 優勝 伊藤 / 本吉組
- ・ 2017 年テザー級世界選手権大会 : Tasar World Championship 2017
（蒲郡 / 2017 年 7 月 30 日-8 月 6 日 参加 97 艇）
優勝 ジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組
- ・ ミッドサマーレガッタ （猪苗代湖 / 2017 年 8 月 26-27 日/ 参加 5 艇） 優勝 米本 / 野嶋組

練習会

- ・ 第 1 回練習会 （江ノ島 / 2017 年 5 月 27 日）
- ・ 第 2 回練習会 （芦屋 / 2017 年 7 月 8 日）
- ・ 第 3 回練習会 （蒲郡 / 2017 年 7 月 15-16 日）
- ・ 第 4 回練習会 （蒲郡 / 2017 年 7 月 22-23 日）
- ・ 第 5 回練習会 （蒲郡 / 2017 年 7 月 29-30 日）

2017 年度スケジュール

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/29(土)~4/30(日)	スプリングレガッタ ★	葉 山	終了いたしました
5/28(日)	アーリーサマーレガッタ★	江ノ島	
7/9(日)	西日本選手権 ★	芦 屋	
7/30(日)~8/6(日)	2017 年テザー級世界選手権大会 ★	蒲 郡	
8/26(土)~27(日)	ミッドサマーレガッタ	猪苗代湖	
10/21(土)~22(日)	全日本選手権 ★	稲 毛	
2018 年 3 月 11 日 (日)	ミッドウィンターレガッタ ★	江ノ島	

★ : Tasar Sailor of the Year の算定対象レガッタです

日本テザー協会 2017 年度年次総会開催および次期会長選のご案内

本年度の年次総会を下記の要領にて開催しますので、ご出席願います。出席できない場合は、必ず添付の委任状を2017年10月6日までに提出くださいますようご協力お願い申し上げます。尚、会員以外の方でも本総会を傍聴することができます。

本年度は、次期日本テザー協会会長の選出について、自薦・他薦の候補を受け付け、票決します。推薦につきましては、2017年10月6日までに会長に推薦する方、その理由、推薦者名・連絡先を記載の上、末尾の国内事務局宛メールアドレスまで送信してください。但し、必要に応じて、会場でも推薦を受け付ける場合があります。

また、その他に総会で審議する議案をお持ちの方は、議案書を日本テザー協会理事会に2017年9月22日までに提出ください。議案提出の方法につきましては、ワード文書にて、末尾の国内事務局宛メールアドレスまで送信してください。議案受領後、理事会よりご連絡申し上げますので、住所・氏名・電話番号・メールアドレスは、必ずご記載ください。

記

【開催予定】

- ・ 日時：10月21日 17:30～
- ・ 場所：千葉市磯辺公民館（稲毛ヨットハーバーから徒歩10分）

【報告事項】

- 1：活動報告
- 2：次年度活動予定
- 3：会計報告（前年度決算報告/今年度中間報告/ワールド会計報告）
- 4：ワールド実施結果報告

【審議事項】

- 第1号議案：次年度予算案
 - 第2号議案：次期会長の選出
 - 第3号議案：その他
- 協議事項 未定

以上

本件に関する問い合わせ先：国内事務局 植田泰平 jta-information@tasarjapan.org *委任状は巻末に添付

山下栄輝さん、ありがとうございました

葉山フリートの山下栄輝氏が7月6日に永眠されました。7月8日、9日に行われたお通夜、告別式には多くのテザー関係者が参列し、最後のお別れをいたしました。

栄輝さんは、長きに亘り葉山フリートのキャプテンとしてフリートのまとめ役を務め、多くのレガッタを開催していただきました。また、テザー協会理事会に参加され、体力的に厳しくなるとメールでの発信を重ねられました。

愛艇“Fatty Cat”(Tasar2621)で、奥様、ご子息ともレース活動を続けられ、蒲郡ワールドには吉田様、木村様との3人チームでエントリーをされました。今年5月のアーリーサマーレガッタには、江の島YHに顔を出してくれ、ワールドに向けて激励の言葉を頂きました。なんとか、蒲郡ワールドまで、と言われていましたが、天国からしっかり見届けていただいたと思います。

栄輝さんのこれまでのテザー界に対するご貢献に対し深く感謝し、ご冥福を心よりお祈りします。

日本テザー協会 会長 田中郁也

世界選手権大会にて開かれた WTC（テザー世界評議会）会議において、コンパスルールに関するクラスルールの変更案が提案されました。クラスルール改正にかかる投票が必要となりますので、下記の通りご案内いたします。

* 原文は、WTC（テザー世界評議会）のホームページをご参照ください。

<http://tasar.org/news/2017/08/voting-on-compass-rule-change.aspx>

【経緯】

現在のテザーのクラスルールは、スピードや位置情報を計算できるコンパスや時計を禁止しています。一方、セーリング用に販売されているコンパスや腕時計には GPS に代表される付加的な機能をもった製品が増えてきています。今後も様々な製品がリリースされることが予測されます。そうした中で現在のクラスルールを見直そうとする提案がチーフメジャーから発せられました。

蒲郡ワールドの際に開催されたメジャー会議では、コンパスに関するクラスルールの変更案を 3 つにまとめ WTC 会議に提案することになりました。WTC 会議では変更案を 1 つに絞らず、各リージョンで意見を集約することになりました。

【変更案の簡単な説明】

- 1 つ目の案は従来よりも細かく制約を記述しています（実質的には変更は少ないと思われる）。
- 2 つ目の案は GPS 製品の使用を部分的に認め、スピード表示を可能にしています。
- 3 つ目はルールを変更せず従来通りとする選択肢です。

【投票手続きについて】

JTA では臨時総会を開いて投票を行うことにします。臨時総会はオンラインで開催し、Web および FAX にて票決します。臨時総会に関する詳しいご案内は、後日、JTA ホームページ上に掲載します。投票期限は 11 月 5 日（日）となります。

3 つの変更案が提示されていますが、この中から JTA の選択を決める必要があります。1 つの案に絞るために以下の手順を取ります。

- 1. 投票数の過半数以上の票を獲得した案を JTA の採択案として決定する。
- 2. どの案も過半数が得られなかった場合は、より多くの票を集めた 2 案をもって再度投票にかける。
- 3. 再投票は 11 月 26 日ごろを予定する（日にちはあらためて案内します）。
- 4. 再投票で過半数を得た案を最終決定とする。

以上のようにして決定した案を JTA の採択案として決議し、12 月 1 日に WTC に通知します。

JTA 規約にある通り、総会の開催には全会員の 3 分の 1 以上の出席が必要です。今回の臨時総会においては、投票数をもって出席数とみなしますので、会員の方は忘れずに投票していただくようお願いします。

なお、臨時総会の投票日より前になりますが、10 月 21 日（土）に開催される日本テザー協会の年次総会においても、クラスルール変更案への投票ができるように投票用紙を用意します（クラスルール変更案への投票は任意になります）。

（参考）関連するクラスルール

B.4 クラス規則の改正 B.4.1 クラス規則の改正は、B.4.2 に基づき世界テザークラス協会によって提案され、ISAF の承認を得るために発議されねばならない。

B.4.2 クラス規則の改正には次の 2 つ承認を得なければならない。

(a) テザー世界評議会

ルール改正を告知して 60 日以降に招集された特別総会か年次総会で賛成したディストリクトが少なくとも 3 分の 2 存在した場合。

(b) テザー諮問委員会

以上

特集：世界選手権大会デイリーレポート集～蒲郡の熱い日々～



2017年7月30日から8月6日まで、TASAR WORLD CHAMPIONSHIP 2017/2017年テーザー級世界選手権大会が、蒲郡市の豊田自動織機海陽ヨットハーバーにて開催されました。期間中、ワールド実行委員会、最強の広報チーム、西朝子さん執筆のこまやかで心温まるレポート、平井淳一さん撮影の鮮やかで臨場感あふれる美しい写真、そして中嶋一成さん撮影・編集の迫力ある素晴らしい映像が、大会公式WEBサイトに毎日掲載されました。熱気・興奮・感動が、多くの方に届いたことと思います。今回のレターでは、このデイリーレポートをあらためて、まとめてご紹介いたします。（レポート：西朝子さん、写真：平井淳一さん（バルクヘッドマガジン）

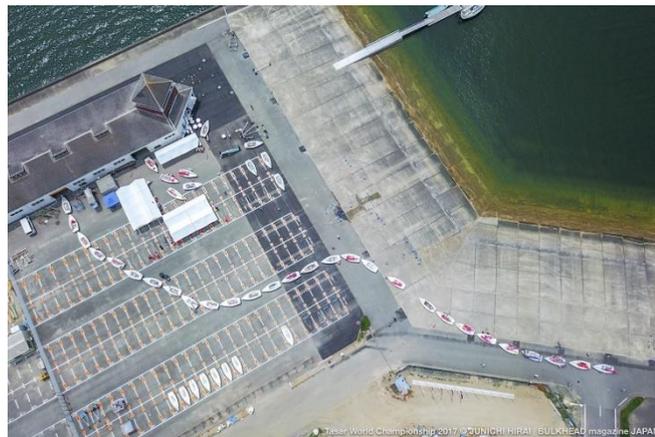
「テーザー級ヨット世界選手権大会 2017」が開幕

Day-1 大会初日はレース艇の計測を実施

2017.7.30

ついにテーザーワールドが開幕しました！

計測待ちの長～い列ができました



7月30日（日）、ついに「テーザー級ヨット世界選手権大会」が開幕しました。初日は選手の受付、レース艇の計測が行われ、ハーバー内には計測を待つ順番待ちの列が長く伸びましたね。



7月31日（月）は午後から練習レースが行われ、夜には開会式とウェルカムパーティーが開かれます。レース本番は8月1日（火）から。最終日の6日（日）に新チャンピオンが決定します。

練習レースはアメリカ勢が好調。明日から本番レースがスタート

Day-2 開会式には稲葉正吉 蒲郡市長も臨席

2017.7.31

プラクティスレースと開会式&ウェルカムパーティーが行われた大会2日目。開会式には稲葉蒲郡市長も出席。そしてハイライトは御神輿“どっこい”でしたね。

葉山フリートによるスペシャル御神輿で盛り上がりました！



開会式に先立ち行われた練習レースでは、アメリカのマイケル・カラス&モーリー・ジャクソン組（セール No.USA2398）がトップフィニッシュ。2位はジェイ&リサ・レナハン組（セール No.USA2916）、3位はジョナサン&リビ=ジョンソン・マッキー組（セール No.USA2597）とトップ3をアメリカ勢が独占し、好調さをアピールしました。



8月1日（火）からいよいよ本番レースが始まります。軽風コンディションが予想される中、好調のアメリカ勢、強豪揃いのオーストラリア勢、そして地元日本勢がどんなレースを展開するのか楽しみです。

3レースを終えオーストラリア艇がトップに

Day-3 日本勢トップは佐藤/村岸組の6位

2017.8.1

3レースやってクタクタ…レース日・初日

大会3日目の8月1日(火)、12時05分に第1レースがスタートし、いよいよ海上決戦の幕が上がりました。この日は西よりの風10~16ノットのコンディションで3レースが実施され、オーストラリアのベテラン、ヘザー・マクファレン/クリス・ペイン組(エントリーNo.57 AUS2883)が2位、5位、3位と手堅くまとめ、10ポイントでトップに立ちました。



日本勢トップは佐藤/村岸組の6位



ロサンゼルス五輪セーリング競技の金メダリスト、ジョナサン・マッキーと奥さんのリビー・ジョンソン・マッキーの夫婦ペア(エントリーNo.37 USA2597)は、第1レース、第2レースと続けてトップフィニッシュしましたが、第3レースで10位となりトータル12ポイントで2位に。

「第3レースはスタートで出遅れました。マーク回航でも他艇と接触してペナルティーを受けたのが痛かったですね」(ジョナサン・マッキー)

現世界チャンピオンのクリス・ダンス/ジェレミー・エルムズリー組(エントリーNo.60 AUS2858)は8位、2位、2位と堅実な走りでトータル12ポイントの2位タイ。4位にはトータル17ポイントで、過去2度世界チャンピオンになっているロバート・ダグラス/ニコル・ダグラスの父娘ペア(エントリーNo.11 AUS2848)が入りました。

日本人トップは6位の佐藤浩章/村岸恭明組(エントリーNo.38 JPN2862 神奈川県・江の島)です。第1レース7位、第2レース4位、第3レース12位でトータル23ポイント。



「上位 10 チームぐらいは実力が拮抗しています。（自分たちの船の）艇速は悪くないので、明日以降もがんばります」（村岸恭明）

9 位は 3 位、9 位、17 位でトータル 29 ポイントの山村太郎/吉田向志組（エントリーNo.41 JPN2736 千葉県・稲毛）、10 位は 15 位、13 位、5 位でトータル 33 ポイントの高橋洸志/杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809 静岡県・浜名湖）と日本勢が続いています。

テザー級の世界大会は参加艇が 100 艇を超える大船団となってもグループ分けせず、全艇が一斉にスタートするのが伝統です。97 艇がエントリーした今大会もその伝統は受け継がれました。しかし全艇一斉スタートの宿命ともいえるのが、時にゼネラルリコール（複数艇がフライングしてスタートがやり直しとなること）が発生することでしょう。ところが、本で行われた 3 レースはいずれも 1 本目でオールクリア（フライング艇なし）となるきれいなスタートでした。

レース運営を担当する愛知県ヨット連盟は、ゼネリコ頻発を防止するためにスタートラインの真ん中に本部船を配置。この采配が功を制したことは間違いないでしょう。ゼネリコの頻発を覚悟していたセーラーたちにとっては、良い方に期待を裏切られる予想外の展開でした。

3 レースを走り、クタクタとなった選手たちのために、レース後のハーバーでは冷やしキュウリやトマト、アイスキャンディーが無料で振る舞われました。接戦を繰り広げるトップ集団も、完走をめざして楽しむエンジョイ派も涼をとりながら、和気あいあいと談笑。また 8 月 1 日にちなみ、各レースの 18 位、81 位のチームに景品が配られるなど、お楽しみイベントも盛り上がりました。



明日 8 月 2 日（水）は、蒲郡市内の小中学生と保護者約 50 人が海上でレース観戦をし、ハーバーで選手とふれ合う「親子でヨットレース観戦：テザー級ヨット世界選手権大会 観戦&交流会～海と日本 PROJECT～」が行われます。

さて、地元の子供たちの前でどんなレースが繰り広げられるのでしょうか？

米国マッキー組がトップに浮上

Day-4 市内在住の親子約 50 人が海上で世界大会を観戦

2017.8.2

地元の子供たちも観戦に来たよ！レース日・2 日目

大会 4 日目の 8 月 2 日（水）は、南東の風 9～16 ノット（約 5～8m/s）のコンディションで 3 レースが実施されました。この日も抜群のスピードでトップ集団をリードしたのが、アメリカのジョナサン&リビージョンソン・マッキー組（エントリーNo.37 USA2597）です。6 レースを終えてトータル 6 ポイントで総合 1 位。五輪セーリング競技金メダリストの実力をいかに発揮しています。

高橋/杉浦組が 8 位に浮上



第 5 レースでマッキー組の前を走りトップフィニッシュしたのが、オーストラリアのジェームス・バーマン&タラ・マッコール組（エントリーNo.53 AUS2797）です。



普段はビッグボートに乗ることが多いというジェームスと、レーザー級などで活躍するタラは、「2人で一緒に乗りたいから」とレーザーワールドへの参加を決めました。「結婚する前に一緒に乗ってみたい方がいしょ？」と話す2人。一緒に乗ってみてどうだった？との問いには「楽しい！レース中のコミュニケーションほとんどうまくいっているけれど、時々頭にくることもある（笑）」との答え。6レースが終わった時点で26ポイント、総合5位につけています。

クリス・ダンス&ジェレミー・エルムズリー組（エントリーNo.60 AUS2858）が17ポイントで総合2位、ロバート&ニコル・ダグラス組（エントリーNo.11 AUS2848）が22ポイントで総合3位と続いています。

トータル35ポイントで7位と日本人トップに踊り出たのが高橋光志/杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809 静岡県・浜名湖）です。佐藤浩章/村岸恭明組（エントリーNo.38 JPN2862 神奈川県・江の島）は、同ポイントながら昨日から2つ順位を落とし総合8位。「外国勢との差はリーチングのスピード。レース後、ダグラス親子に走らせ方のコツを聞くことができたので、明日のレースで試してみたい」（高橋光志）



トップ集団はマッキー組が頭一つ抜け出した格好ですが、2位から11位までは20ポイント差にひしめく大混戦。明日以降も表彰台を狙った接戦が続きます。

また今日は、地元蒲郡市内の小中学生と保護者50人を招待した「親子でヨットレース観戦：テザー級ヨット世界選手権大会 観戦&交流会～海と日本 PROJECT～」も開催されました。

間近でレースを観戦した子供たちは、思ったより速く走るヨットに興味。レース艇が転覆すると驚いて身を乗り出し、乗員が力を合わせて元に戻す様子にエールをおくっていました。レース後に海陽ヨットハーバーで行われた参加選手たちとの交流会では、「どうしたら速く走らせることができるの?」「転覆した船はどうやって立て直すの?」といった質問が出るほど、ヨットレースに興味を持ってくれたようです。



軽快なリズムの「ちゃらぼこ太鼓」の演奏を聞き、アサリ出汁が絶品の「ガマゴリうどん」に舌鼓をうち、最後は皆で盆踊りをするなど交流会は最後まで盛り上がりました。

明日8月3日(木)も正午過ぎに第1レースがスタートする予定です。

安定の上位陣。高橋/杉浦組が第7レースでトップフィニッシュ

Day-5 サバイバルコンディションでリタイヤ艇が続出

2017.8.3

大会5日目となる8月3日(木)、三河湾は徐々に南東の風が強くなり、海面には白波が立つようになりました。2レース目以降は20ノット(約10m/s)を超える南東の風が吹き、ギアトラブルなどでリタイヤするレース艇が出るサバイバルコンディションに。そんな中、今日も3レースが実施され上位陣は安定した強さを見せました。

マッキー組、強し



軽風から強風まで、どんなコンディションでも強いのがアメリカのジョナサン&リビージョンソン・マッキー組(エントリーNo.37 USA2597)です。今日も5-1-1と2レースでトップフィニッシュし、合計6ポイントと総合1位の座を危なげなく守りました。

風が吹き上がる前の1レース目で1位となったのが、高橋洸志&杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809）です。このレースは2回のゼネリコの後に黒色旗が掲揚され、9艇が失格となる波乱のスタートとなりましたが、高橋/杉浦組は良いスタートを切り会心のレース運びで今大会日本人初のトップフィニッシュ。尻上がりの調子を上げてきた全日本チャンピオンは、9レースを終えて合計39ポイントと表彰台に手が届く5位まで上げてきました。

高橋&杉浦組の前に立ちはだかるのが、37ポイントで4位のマイケル・カラス&モーリー・ジャクソン組（エントリーNo.36 USA2398）、33ポイントで3位のロバート&ニコル・ダグラス組（エントリーNo.11 AUS2848）、20ポイントで2位のクリス・ダンス&ジェレミー・エルムズリー組（エントリーNo.60 AUS2858）です。



上位陣が迫力のあるレースを繰り広げたのとは対照的に、20ノット以上（約10m/s）の風と1.5mを超える波に翻弄されたのが中盤以降の多くの選手たちです。特に3レース目は、ギアトラブルなどで参加艇の約3分の1がリタイヤする過酷なコンディションとなりました。



小学生の息子2人と乗る長谷川勝啓&大智&帆風組（エントリーNo.26 JPN2657）は、1レース目27位と健闘しましたが、2レース目がギアトラブルによりタイムリミット、3レース目はリタイヤと残念な結果に。

「波と風が強くて大変だったけど、怖くなかったし、がんばって走ったのにタイムリミットになって悔しかった」（長谷川大智、帆風兄弟）

「強風は得意だけど、子供と乗っているのでこういう結果もしょうがない。これも楽しい」（長谷川勝啓）

小澤拓身&蜂須賀弘美組（エントリーNo.87 JPN2655）はギアトラブルで3レース目をリタイヤした。

「いやぁ疲れた。太ももがパンパンで今日のパーティーは座るのが大変だった（笑）。ローマストにヒビが入ってやむなくリタイヤ。明日はレース艇の整備をしないと」（小澤拓身）

そんなハードなレースの後にも、ソーシャルプログラムをしっかりと楽しむのがテザーセーラーたちです。レイデー前のこの日は、三谷温泉のホテルで畳の大広間にお膳という純和風スタイルの「ザ・宴会」が開かれました。お箸を上手に使いながら食事をし、焼酎や日本酒なども楽しむ外国人と、お酒で口が滑らかになった日本人選手が各所でヨット談義に華を咲かせる様子は、家族や夫婦で楽しむ、アットホームなテザーコミュニティならではの光景でした。



明日8月4日（金）はレイデー（休養日）でレースは行われません。選手たちは観光に出かけたり、レース艇の整備をしたり、体を休めたりと思いつきに過ごし、週末のレースに備えます。

高橋/杉浦組が再びトップフィニッシュ

Day-7 明日が最終日のテザー級ヨット世界選手権大会

日本勢が健闘した、レース日・4日目

2017.8.5

レイデー（休養日）明けの8月5日（金）、愛知県蒲郡市の豊田自動織機 海陽ヨットハーバー沖でテザー級ヨット世界選手権大会の熱戦が再開されました。今日は風の風向や風速が変わりやすく、上位陣も苦戦する難しいコンディション。そんな中、日本勢の健闘が光りました。

高橋&杉浦組がトップフィニッシュ、大橋&中澤組は2着



第1レースを制したのは、全日本チャンピオンの高橋光志&杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809）です。レース序盤から好位置に付けると、マークを回ると共に順位を上げ、終盤はロバート&ニコル・ダグラス組（エントリーNo.11 AUS2848）との一騎打ちに。最後の風上航でも互いに譲らず、決着はフィニッシュライン上の勝負となりました。スターポート（優先権あり）アプローチの高橋&杉浦組。ポートアプローチの（優先権なし）ダグラス組。権利を上手く施行した高橋&杉浦組が僅かにリードし、トップフィニッシュを飾りました。

徐々に風が落ちる中でスタートした第2レース。最初の風上航で風軸の変更をうまく掴んだのが、風上側からスタートしたリック・ロングボトム&ダリル・ベントリー組（エントリーNo.54 AUS2898）と、大橋太一&中澤大 trio組（エントリーNo.78 JPN2732）です。2艇のデッドヒートは最初から最後まで続きましたが、冷静なレース運びで相手艇をしっかり押さえたロングボトム&ベントリー組が先にフィニッシュラインを切りました。



「テーザー級の走らせ方にはコツがある。日本艇がぴったり後ろからついてきたけれど、私は1984年から乗っているからね。落ち着いて、安定した走りを心がけてトップフィニッシュすることができた。テーザー級の良さは、アットホームクラスである反面、すごくシビアなレースもできること」（リック・ロングボトム）

「得意な風域ということもあり、ようやく自分たちの走りができた。テーザー級はきちんとトリムすれば一気に加速するけれど、うまくできなければすぐに失速する。非常にテクニカルなクラス。世界大会に出てみて、改めてレベルの高さを知ることができた。当初の目標はもっと高かったけれど、今は10位以内を目指したい」（大橋太一）



11レースを終え首位を守っているのは、16ポイントのジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組（エントリーNo.37 USA2597）。2位は38ポイントのクリス・ダンス&ジェレミー・エルムズリー組（エントリーNo.60 AUS2858）、3位は40ポイントのダグラス組、4位に48ポイントのロングボトム&ベントリー組が続いています。

日本人トップは53ポイントの高橋洸志&杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809）です。81ポイントの佐藤浩章&村岸恭明組（エントリーNo.38 JPN2862）が10位、136ポイントの山村太郎&吉田向志組（エントリーNo.41 JPN2376）が13位、143ポイントで大橋&中澤組が続いています。

最終日の明日8月6日（日）は、1レースの実施を予定しています。
テーザー級の新チャンピオンは明日決まります。

米国マッキー組が4度目のチャンピオンに

Day-8 日本人最高位は5位の高橋&杉浦組

米国マッキー組が優勝！大会最終日

2017.8.6

愛知県蒲郡市の豊田自動織機 海陽ヨットハーバーで7月30日から開催されていた「テザー級ヨット世界選手権大会」は、8月6日に最終日を迎えました。21回目の世界大会を制したのは初日から圧倒的な強さを見せた、アメリカのジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組（エントリーNo.37 USA2597）。2位から4位までは33艇が参加したオーストラリア勢が占め、日本人最高位は世界大会初出場の高橋洸志&杉浦博之組（エントリーNo.13 JPN2809）でした。

マッキー夫妻が4度目のチャンピオンに

大会最終日となる8月6日（日）は、朝から風が無く選手たちは陸上待機を強いられます。レースコミッティーはレースを実施しようと規定時間ギリギリまで待ちましたが、最後までレースが行える風は吹かず、最終日はノーレースとなりました。その結果、大会7日目までに行われた11レースの結果が最終順位となりました。



総合優勝は大会初日から圧倒的な強さを見せた、アメリカのジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組（エントリーNo.37 USA2597）。7度目の世界大会出場となるアメリカペアが、4回目のテザー級世界タイトルを手に入れました。

「優勝できてとても嬉しい。大会に向け一生懸命練習してきたけれど、予想していたより良い結果になった。レース運営、地元の受け入れ体制、そして参加したテザーセーラーとの交流、どれもが素晴らしく良い思い出になった」(ジョナサン・マッキー)

「年齢や体力、性別、経験に関係なく誰も同じ土俵でそれぞれに楽しめるのがテザー級の良いところ。私たちは結婚する前からテザー級と一緒に乗り、結婚 27 年目になる今も一緒にセーリングしている。いつまでもハイクアウトをしながら、テザー級に乗っていただけることを願っているわ」(リビー・ジョンソン・マッキー)



2 位はオーストラリアのクリス・ダンス&ジェレミー・エルムズリー組(エントリーNo.60 AUS2858)、3 位には同じくオーストラリアのロバート&ニコル・ダグラス組(エントリーNo.11 AUS2848)が入りました。

「今大会は若手のジェレミーと参加し、レースも、レース以外のプログラムも楽しんだ。とても充実した 8 日間だった」(クリス・ダンス)

「父と一緒にレース艇に乗り、多くのテザー仲間とレースができたこと、ヨットに乗らない母も応援にかけつけてくれ一緒に日本滞在を楽しんだことなど、本当に思い出深い大会になった。皆さん(日本語で)どうもありがとう」(ニコル・ダグラス)

日本人最高位は 5 位の高橋光志&杉浦博之組(エントリーNo.13 JPN2809)でした。

「テザー級は非常に繊細でテクニカルなヨット。上位陣はとてもレベルが高く、なかなか前を走ることができなかったけれど、大会を通してトップ選手たちからアドバイスをもらいだんだんとコツを掴むことができた。選手同士が情報を隠すことなく、仲良く交流することはほかのクラスではなかなかない。アットホームな雰囲気もテザー級の大きな魅力だと思った」(高橋光志)

「表彰台には手が届かなかったけれど、存分に世界大会を楽しんだ。次の世界大会も出たい気持ちで一杯。今大会はチャーター艇で出場したので、まずは自分のたちのフネを手にいれないと」(杉浦博之)



世界 5 国から 97 艇が参加した今回の世界大会。選手の家族も含めると 300 名近い人が参加した閉会式・表彰式では、総合成績のほか、年代別の表彰などが行われ大いに盛りあがりました。

閉会式の最後には、次回の世界大会開催地となるイギリスチームのプレゼンテーションが行われ、日本テザークラス協会の田中郁也会長から、イギリスのエリザベス&ロジャー・ペスコット夫妻に大会旗が手渡されました。次回のテザー級ヨット世界大会は2019年8月にイギリス南部のヘイリング島で開催されます。



【テザー級ヨット世界選手権大会 2017 入賞者】

- 総合1位：ジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組 (USA2597)
- 総合2位：クリス・ダンス&ジェレミー・エルムズリー組 (AUS2858)
- 総合3位：ロバート&ニコル・ダグラス組 (AUS2848)
- 総合4位：リック・ロングボトム&ダリル・ベントリー組 (AUS2898)
- 総合5位：高橋光志&杉浦博之組 (JPN2809)
- 総合6位：クレッグ・マカフィー&ジリアン・ベリー組 (AUS2857)

マスター部門

- 1位 (総合3位)：ロバート&ニコル・ダグラス組 (AUS2848)
- 2位 (総合4位)：リック・ロングボトム&ダリル・ベントリー組 (AUS2898)
- 3位 (総合10位)：佐藤浩章&村岸恭明組 (JPN2862)

グランドマスター部門

- 1位 (総合1位)：ジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組 (USA2597)
- 2位 (総合6位)：クレッグ・マカフィー&ジリアン・ベリー組 (AUS2857)
- 3位 (総合8位)：ヘザー・マクファーレン&クリス・ペイン組 (AUS2883)

スーパーグランドマスター部門

- 1位 (総合34位)：キム・ウィドーズ&メリッサ・クラウフォード組 (AUS2913)
- 2位 (総合45位)：ケン&シージェー・ウェラー組 (AUS2818)
- 3位 (総合48位)：小澤拓身&蜂須賀弘美組 (JPN2655)

ジュニアヘルム部門

- 1位 (総合96位)：村田恵里 (JPN2555)

レディースヘルム部門

- 1位 (総合8位)：ヘザー・マクファーレン (AUS2883)



スプリングレガッタ

高橋・杉浦組が優勝！葉山テザー級スプリングレガッタ

4月29、30日、葉山港で2017年度の公式戦の幕開けとなる「スプリングレガッタ」が開催されました。ゴールデンウィークということもあり、芦屋・大阪北港・浜名湖・江ノ島・稲毛・葉山・仙台から35艇が集まりました。（レポート・写真提供／日本テザー協会）



初日は出艇前から南風が吹き上がることが予想され、昼前には無風に近い状態となったものの、13時過ぎから予報通りの強風コンディションとなりました。

第1レースは、まだ風も吹きがっておらず、南風4m/sの気持ちの良いコンディションの中でスタート。艇団が左右に大きく分かれるなか、中央でシフトに合わせながら振れタックで先行した高橋／杉浦組が僅差でトップ回航し、猛追する佐藤／村岸組を押しさえフィニッシュ。

第2レース、予報通り風が吹きあがり、南風10m/s前後のコンディションの中スタート。風と同時にうねりも大きくなり、クローズでは選手たちを大いに苦しめます。

上マークトップ回航は、佐藤／村岸組で、続いて高橋／杉浦組。リーチングでうまく波に乗った高橋／杉浦組は逆転し、そのままトップフィニッシュ。

多くのリタイア艇が出る中、小学生2人がクルーの長谷川親子チームは13位で堂々フィニッシュ。子供たちは大きな波が怖かったようですが、最後までがんばって走り抜きました。強風を得意とする長谷川父は、安定感のあるハンドリングで安全に着艇。この様子を目の当たりにした周囲から称賛の嵐でした。

この日、終始デッドヒートを繰り広げた高橋／杉浦組と佐藤／村岸組ですが、フィニッシュ後には走らせ方やセッティングについて情報交換し、お互いに変な収穫の多いレースだったようです。トップ選手が惜しみなく情報交換してお互いにより速くなろうとする姿は、テザーならではの雰囲気だと言えます。

2日目も、前日同様の南風の中3レースが実施されました。

第3レースは、5m/sぐらいの順風コンディションの中スタート。佐藤／村岸組が第1マークから独走し、そのまま順位をキープしてフィニッシュ。3位には軽部夫妻組、4位には紙夫妻組と、夫婦パワーが光るレースとなりました。

第4レースは徐々に風が強まり、10m/s前後の中スタート。風が左右に大きく振れるコンディションで、下から出た高橋／杉浦組が左からの強いパフを捉え、そのままトップフィニッシュ。

第5レースは風と大きなうねりがさらに強まり、ハンドリングが難しいコンディション。レースをするごとに細かなセッティングの調整で艇速を上げた佐藤／村岸組が貫禄の走りで上マークからトップを守り抜きトップフィニッシュ。

総合では、高橋／杉浦組が僅差で優勝。2位は佐藤／村岸組、3位は伊藤／本吉組という結果でした。ワールド本番まで残り3か月。オールジャパンでしっかりとレベルアップできるように情報交換をし、今度のワールドのキャッチフレーズである「求む！日本人チャンプ！」をクリアできるようにみんなががんばろうと誓い合い、レガッタを終えました。

次のレースは、5月28日に江の島ヨットハーバーで開催される「アーリーサマーレガッタ」です。前日には3月に開催して好評を博したプロセラー本吉夏樹氏によるクリニックを実施予定です。
<http://tasarjapan.org/index.php/events/racej/184-2017earlysummer>

2017年7月30日~8月6日には愛知県蒲郡市の海陽ヨットハーバーで日本では8年ぶりとなる「テザー級世界選手権」を開催予定です。大会ウェブサイトは下記となります。
◎蒲郡テザー級世界選手権
<http://tasarworlds2017.org/>



優勝 高橋・杉浦組



2位 佐藤・村岸組



3位 伊藤・本吉組



(5/4 BULKHEAD magazine 掲載)

アーリーサマーレガッタ

ワールドまで2カ月！ 2017江の島テザーアーリーサマーレガッタ・レポート

5月28日、神奈川県江の島ヨットハーバー沖で、「テザーアーリーサマーレガッタ」が開催されました。蒲郡ワールドまで残すところ2カ月ということもあり、25艇という多くのチームが参加。地元江の島からは11艇が参加し、盛り上がりを見せました。(レポート・写真提供/日本テザー協会)



ワールドを直前に控え、江の島でアーリーサマーレガッタが開催されました

今回も、バリバリのレース志向チーム、親子チーム、夫婦チーム、社会人になって始めたチームとテザーの幅広い選手層を象徴するようなメンバーが揃いました。南東から南西、3~6m/sの風で4レースが実施され、ワールドに向けた盛り上がりのピークを実感する、楽しい中にも良い緊張感があるレガッタとなりました。

優勝は、全レーストップの佐藤/村岸組。スタート失敗しても徐々に順位を上げ、終始安定したレースを展開しました。1-1-1-1位の完全優勝です。2位には、これまた常に上位を走った田中/田中組。日本テザー協会の会長として陣頭指揮をとるワールド準備が佳境を迎える中、レースでもきっちり成績を残してきます。

3位には、ダイエットに燃え、ここにきてテザーを乗りこなし実力をつけてきた伊藤/森島組が入りました。スーパーグランドマスター優勝は、2015年の全日本覇者、戸室/仲俣組が入りました。

レース前日には、午前には日本テザー協会によるルール講習会、午後からプロコーチ本吉夏樹さんによる海上練習会（強風のため一部の艇のみ）と、夜

には海上練習を振り返り映像を使った講習会兼懇親会が開催され、本吉さんからのレクチャー、及び全員参加のディスカッションで大いに盛り上がりました。

※ビデオ映像は[日本テザー協会のホームページ](#)にアップされます。是非ご確認ください。

今後のスケジュールは下記になります。

- ・7/9 西日本選手権 *前日に練習会実施
- ・7/15、16 蒲郡練習会 *レースエリアでのコース設定
- ・7/22、23 蒲郡練習会 *レースエリアでのコース設定
- ・7/29、30 蒲郡練習会 *レースエリアでのコース設定
- ・7/30~8/6 テザー級世界選手権

さて、テザー級世界選手権は、既に70艇を超えるエントリーが集まっています。エントリーは7月14日までですので、皆様のエントリーをお待ちしております。

(5/30 BULKHEAD magazine 掲載)

西日本選手権

蒲郡ワールドまでカウントダウン！芦屋テザー級西日本選手権レポート

7月9日、兵庫県芦屋マリンセンター沖で「テザー級西日本選手権」が開催されました。ワールド前の最後の公式レガッタとなった今回、例年を大きく上回る22艇が参加しました。（レポート・写真/日本テザー協会）



ワールド直前となった西日本選手権に 22 艇が出場

前日に行われたプロセラーの本吉夏樹講師による練習会は、ワールド直前ということもあって、関西勢を中心に 13 艇が集まりました。午前中はポートセッティングやルールの講義、午後からは海上で 1 艇ずつビデオ撮影を行いながら全艇のセーリングをチェックし、問題点を改善していくという丁寧なコーチングがおこなわれました。

海上練習の後半には 15 ノット前後のシーブリーズが入り、絶好のコンディションの中、プラクティスレースが行われ、夕方からの懇親会も含めて大盛況のうちに幕を閉じました。

ところが、レース当日はコンディションが一変。朝の時点では全くの無風で、昼過ぎにようやく入ってきた 3~5 ノットの風で第 1 レースをスタートしました。

レースはスローな展開で進みましたが、中盤で有利なポジションに入った伊藤/本吉が一気に抜け出し、第 1 マークをトップ回航。2 番手は西のベテラン、池田/秋吉、3 番手には昨年の西日本選手権覇者、本吉/三苫（昨年のクルーは安澤選手）でした。続くダウンウインドレグで本吉/三苫が 2 位に浮上、このままトップ 3 艇がリードを守り切り、フィニッシュしました。

続く第 2 レースは 5 ノット前後の風でスタート。強い潮流とシフトにより、アウターサイドでフリートの動きが止まった一瞬の隙を突き、伊藤/本吉が鮮やかなポートスタートで抜け出すと、それに合わせるように本吉/三苫もポートタックでフリートを抜け出し、ここから早くもこの 2 艇の一騎打ちの様相となりました。

第 1 マークのトップは本吉/三苫。しかし、第 2 ~ 第 3 マークのレグで伊藤/本吉が逆転、本吉/三苫は再びオーバーラップ寸前まで追い上げるも、第

5 マークで S 旗が掲揚され再逆転には及びませんでした。

優勝は 1-1 のパーフェクトスコアでまとめた伊藤/本吉。2 位には本吉/三苫、3 位には前日の練習会での課題を上手く反映できたという、池田/秋吉が入りました。



優勝の伊藤/本吉組

7 月 30~8 月 6 日に豊田自動織機 海陽ヨットハーバー（愛知県蒲郡市）で開催されるテーザー級世界選手権大会には、7 月 12 日現在で 95 艇がエントリーしています。

<http://tasarworlds2017.org>

自国開催のワールドということもあり、これまで他クラスで活動していた選手や、これを機に現役復帰した選手など、バラエティに富んだメンバーが数多く参加します。大会の様子はバルクヘッドマガジンにも掲載される予定ですので、ぜひご注目下さい！



蒲郡 W までカウントダウン。レース前日は講習会もあり、ワールド直前集中トレーニングとなりました。

(7/12 BULKHEAD magazine 掲載)

ミッドサマーレガッタ

キャンプ&セーリング。猪苗代湖でテザー級ミッドサマーレガッタ開催！

8月26、27日、福島県猪苗代湖で「テザー級ミッドサマーレガッタ」が開催されました。今年も志田浜オープンヨットレース（主催：郡山ヨットクラブ・福島ヨットクラブ）に参加する形で、蒲郡ワールド閉幕から中3週間という期間でのレガッタでしたが、遠征大好き5チームが集まりました。（レポート・写真提供／日本テザー協会）



蒲郡テザーワールドの興奮も冷めぬまま、今年も猪苗代湖でミッドサマーレガッタ開催されました

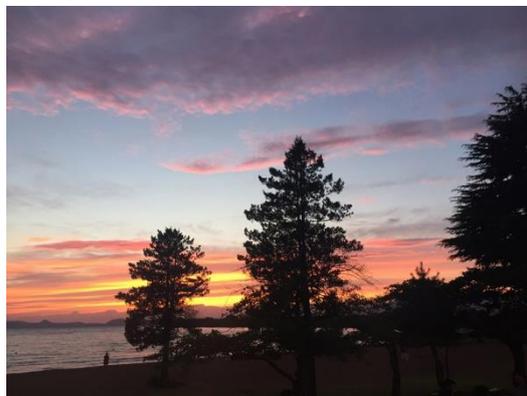
昨年に引き続き、大会会場は猪苗代湖・志田浜キャンプ場ということで、5艇中3艇はテント持参でキャンプ。大会は主催クラブのメンバーによる出艇前や着艇後のカレー・おにぎり・福島県産フルーツ等の振る舞いや、レイクサイド磐光ホテルの日帰り温泉割引サービス、懇親パーティー等、イベント性の高いレガッタで、強風によるノーレースや胃が痛くなるようなフレフレ微風もなんのその、2日間を目一杯エンジョイしました。

初日は、開会式終了後に出艇するも、強風によりハーバーバックして陸上待機。2時間待っても湖面の白波は消えず、ノーレースになりました。もちろん、あっという間に宴会モードへ。



ワールドの盛り上がりも抜け切っていないメンバーは、1つのテントにすし詰め状態で一次会スタート。次回ワールド開催地の海面や潮流の話で盛り上がるなど、このメンバーは2019年にイギリスで開催されるテザーワールドに行く気満々です。

懇親パーティーでは美しい猪苗代湖を囲む山々に沈む夕日をバックに、参加57艇の選手や運営メンバーとの交流が深まりました。



2日目の早朝は風があり、美しい朝日が注ぐ湖面でサンライズセーリングしている艇もあったものの、その後はみるみる風が落ち、第1レーススタート時にはレース水域まで辿り着けない艇もいる程の微風になりました。

しかし、初日にレースができなかったため執念の運営でレースはスタート。1レース目はS旗が上がり、3レグでフィニッシュ。その後も時折そよそよ降りてくる風の中で第3レースまで続き、第4レース目の実施を試みたもののタイムアップでレガッタが終了しました。

優勝はテザー公式レース初優勝の米本・野嶋組。志田浜オープンヨットレースでは総合3位に入賞しました。5艇のみのレースでは誰が優勝してもおかしくない！という中、1-1-4とトップ2回で優勝した結果は実力の賜物です。



ミッドサマーレガッタ優勝の米本・野嶋組

次の公式戦は 10 月 21、22 日 に稲毛ヨットハーバーで開催される「全日本選手権」です。レース公示は日本テザー協会のホームページ (<http://tasarjapan.org/>) に掲載しています。

ホームページでは中古艇の情報も掲載していますので、ワールドで新しい仲間も増えて盛り上がっているテザーに興味のある方のご連絡をお待ちしております！ (publicity※ tasarjapan.org 。※を@に代えて)

(9/3 BULKHEAD magazine 掲載)

ミッドサマー参加レポート

稲毛フリート 米山さん

今回初めてレースに参加しました、米山です。

8 月頭に行われた、蒲郡でのワールドを観覧したことがキッカケで、テザーに乗ることにしました。ヨットに乗ること自体が初めての経験なので、不安もありましたが、元々海が好きだったこともあり、楽しく始めることができました。

蒲郡から戻ってすぐ練習を 2 回したのち、今回の猪苗代湖 志田浜サマーレガッタに臨みました。

初日は強風のため、残念ながらノーレース。2 日目 1 レースはまったりとした風で、湖上から磐梯山を眺めつつ 1 位米本・野嶋ペア、2 位石川・石黒ペアに続き 3 位でゴール。 2 レース目は、風も出てきて覚えたてのハイクアウトで頑張っていたところ、下マークでふいに完沈！ 人生で初めての沈を経験しました。初めての沈おこしが湖で出来て良かったと、ポジティブに捉えたこのレースは 5 位でゴール。なお 1 位は 1 レース目と同様、米本・野嶋ペアでした。

そして迎えた最終レース、風によって良いスタートが切れたことで最後まで順位を落とさず、1 位でゴールすることができました！ 1 位って気持ちいい！

最終順位は 4 位でしたが、初めてのレースで 1 試合でも 1 位が取れて、とても良い気持ちで終わることができました。次のレースはもっと良い順位を取れるように、様々なコンディションで練習を重ねたいと思います！

最後に、テザーだけでなく、参加していた皆さんが、アットホームな良い雰囲気で行っていたのが、とても印象的でした。

これからもよろしくお願いします！

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2016

2016 年の Tasar Sailor of the Year は、稲毛フリートの田中紀子さんが受賞しました。全日本選手権大会での「賞状作成お手伝い」で加味された運営ポイント 3 点が、単独でのタイトル獲得に効いたようです。

皆勤賞は、大阪北港フリートの石川光輝さんでした。おめでとうございます。

さて、2017 年のタイトルは誰の手に？！ *ポイント一覧はニューズレター 103 号をご覧ください。

△2017 年の夏、皆さまいかがお過ごしでしたか？ 私にとってはいろいろな意味で「あつい」夏でした。ワールドに関わったみなさんの一所懸命の「熱さ」あり、(年のせい)か) 体に堪えた「暑さ」あり、そして、なんととっても多くの人とのふれあいで感じた「篤さ」が心にぐっと響きました。
△ワールドの写真や映像を見ると、みなさん、ステキな顔をしています。真剣な顔あり、あふれる笑顔あり。テザーって、生活を豊かにするスパイスのひとつなんだなあって、あらためて感じました。
△今回のレターは、記録を残すことで精いっぱいでしたが、次号では、ワールド準備に携わったみなさんや、参加された方々の声をお届けできれば、と思っています。よろしくお願いいたします(のり)

2017 テーザースプリングレガッタ

CUT 1 レース

2017.4.29, 30 葉山

Entry No	SailNo	Skipper	Crew	Crew	Fleet	Class	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			合計	CUT	NET	順位
							着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点				
1	6	2809	高橋 洸志	杉浦 博之	浜名湖		1		1	1		1	2		2	1		1	3		3			8	3	5	1	
2	14	2862	佐藤 浩章	村岸 恭明	江ノ島	M	2		2	2		2	1		1	2		2	1		1			8	2	6	2	
3	26	2741	伊藤 一石	本吉 夏樹	江ノ島		5		5	4		4	6		6	4		4	2		2			21	6	15	3	
4	15	2395	本吉 謙治	三苫 稔尚	未所屬	M	4		4	6		6	7		7	3		3	6		6			26	7	19	4	
5	35	2761	池田 陽平	小松 充	稲毛&葉山		8		8	3		3	11		11	6		6	4		4			32	11	21	5	
6	16	2732	大橋 太一	中澤 大三郎	江ノ島		3		3	5		5	10		10	8		8	10		10			36	10	26	6	
7	25	2736	山村 太郎	高木 大輔	稲毛		13		13	9		9	5		5	11		11	5		5			43	13	30	7	
8	2	2765	田中 郁也	田中 紀子	稲毛	GM	9		9	DNC	36	8		8	7		7	8		8			68	36	32	8		
9	29	2768	紙 聡	紙 さおり	葉山		7		7	DNC	36	4		4	13		13	9		9			69	36	33	9		
10	18	2707	石塚 恒志	国武 一樹	浜名湖	GM	25		25	7		7	15		15	9		9	7		7			63	25	38	10	
11	34	2881	軽部 香	軽部 竜也	稲毛	M	18		18	10		10	3		3	10		10	RET		36			77	36	41	11	
12	3	2593	亀山 寛達	井上 敦	稲毛	M	11		11	DNC	36	14		14	15		15	11		11			87	36	51	12		
13	19	2208	南屋 恵美子	長 義晴	芦屋	M	14		14	12		12	13		13	16		16	12		12			67	16	51	13	
14	1	2719	石川 光輝	成川 健一	黒臺 櫻	大阪北港		15		15	8		8	21		21	DNC	36	14		14			94	36	58	14	
15	33	2396	山本 晴之	山本 玲子	葉山	M	16		16	15		15	16		16	14		14	13		13			74	16	58	15	
16	21	2808	石川 洋二	真下 峻徳	葉山	M	26		26	14		14	9		9	26		26	16		16			91	26	65	16	
17	13	2822	岩間 伸也	阿部 勝浩	未所屬	M	30		30	11		11	19		19	19		19	20		20			99	30	69	17	
18	4	2657	長谷川 勝啓	長谷川 大智	長谷川 帆風	浜名湖		28		28	13		13	31		31	12		12	18			102	31	71	18		
19	7	2821	戸室 宣房	仲俣 敦司	江ノ島	SGM	10		10	RET	36	12		12	17		17	RET		36			111	36	75	19		
20	10	2671	阪井 祐介	宮下 健	葉山	M	22		22	DNC	36	17		17	5		5	RET		36			116	36	80	20		
21	17	2575	野嶋 嘉昭	柳川 太佑	葉山		6		6	DSQ	36	20		20		DNS	36	19		19			117	36	81	21		
22	8	2764	中西 英貴	佐藤 和紀	芦屋	M	17		17	DSQ	36	27		27	22		22	15		15			117	36	81	22		
23	22	2709	宮下 知之	宮下 颯	葉山		19		19	DNC	36	24		24	25		25	21		21			125	36	89	23		
24	12	2738	武田 純	武田 朋美	江ノ島	M	20		20	DNC	36	35		35	20		20	17		17			128	36	92	24		
25	27	2676	荒川 徹	松浦 裕子	芦屋	GM	31		31	17		17	29		29	BFD	36	22		22			135	36	99	25		
26	30	2958	長嶋 諒	高橋 夏樹	葉山		24		24	DNC	36	18		18	21		21	RET		36			135	36	99	26		
27	32	2621	吉田 浩司	谷 意久男	葉山	GM	21		21	DNC	36	23		23	23		23	RET		36			139	36	103	27		
28	5	2866	渡辺 克充	中野 佳代子	芦屋	M	12		12	RET	36	22		22		RET	36	DNC		36			142	36	106	28		
29	9	2720	岡 誠	小松 利英	葉山	M	23		23	DNC	36	26		26	24		24	RET		36			145	36	109	29		
30	28	2706	中本 広之	石丸 寿美子	葉山	GM	27		27	16		16	32		32		RET	36		DNC			147	36	111	30		
31	31	2893	松崎 浩一	滝口 裕樹	未所屬	GM	29	DPI	36		DNC	36	28		28	18		18	RET		36			154	36	118	31	
32	23	2748	米本 隆	鬼塚 一浩	葉山			DNF	36	18		18	30		30		DNC	36		DNC			156	36	120	32		
33	11	2730	宇佐美 重則	小田倉 里美	稲毛	GM		DNC	36		DNC	36	25		25		RET	36		DNC			169	36	133	33		
34	24	2623	黒谷 豊	黒谷 拓海	芦屋		32		32		DNC	36	34		34		DNC	36		DNC			174	36	138	34		
35	20	2466	高橋 徹	佐々木 和人	江ノ島	GM		DNF	36		DNC	36	33		33		RET	36		DNC			177	36	141	35		

2017年度 テーザーアーリーサマーレガッタ

Pos	Sail No.	フリート/水域		スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		4R		カット	Total
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	2862	江ノ島	M	佐藤 浩章	村岸 恭明		1	1	1	1	1	1	1	1		4
2	2765	稲毛	GM	田中 郁也	田中 紀子		2	2	2	2	5	5	2	2		11
3	2741	江ノ島		伊藤 一石	森島 裕太		4	4	4	4	11	11	4	4		23
4	2671	葉山	M	阪井 祐介	宮下 健		3	3	3	3	6	6	12	12		24
5	2705	芦屋	M	植田 泰平	植田 典子		14	14	5	5	2	2	6	6		27
6	2732	江ノ島		大橋 太一	中澤 大三郎		9	9	10	10	4	4	8	8		31
7	2748	葉山		米本 隆	鬼塚 一浩		8	8	13	13	7	7	7	7		35
8	2593	稲毛	M	亀山 寛達	井上 敦		10	10	9	9	14	14	5	5		38
9	2821	江ノ島	SGM	戸室 宣房	仲俣 敦司		7	7	UFD	26	3	3	3	3		39
10	2745	江ノ島	M	関口 真秀	上松 慮生		6	6	14	14	9	9	10	10		39
11	2719	大阪北港		石川 光輝	黒臺 櫻		UFD	26	7	7	8	8	11	11		52
12	2709	葉山		宮下 知之	宮下 颯		17	17	8	8	12	12	17	17		54
13	2621	葉山	GM	吉田 浩司	中村 允利		12	12	15	15	19	19	13	13		59
14	2395	江ノ島	M	本吉 譲治	三笥 稔尚		5	5	6	6	RET	26	DNC	26		63
15	2808	葉山	M	石川 洋二	柳川 太佑		19	19	20	20	16	16	9	9		64
16	2470	浜名湖	M	北村 好江	北村 道則		22	22	18	18	10	10	14	14		64
17	2893	未所属	GM	松崎 浩一	滝口 裕樹		UFD	26	11	11	15	15	16	16		68
18	2676	芦屋	GM	荒川 徹	松浦 裕子		20	20	22	22	13	13	15	15		70
19	2730	稲毛	GM	宇佐美 重則	小田倉 里美		11	11	17	17	17	17	DNC	26		71
20	2652	江ノ島	SGM	山分 信	大野 信博		18	18	12	12	18	18	DNC	26		74
21	2806	江ノ島	M	和波 拓郎	和波 真帆		13	13	23	23	21	21	20	20		77
22	2720	葉山	M	岡 誠	小松 利英		16	16	21	21	22	22	18	18		77
23	2466	江ノ島	GM	高橋 徹	佐々木 和人		15	15	16	16	23	23	DNC	26		80
24	2469	江ノ島	M	塩 信之	堀 昌太		21	21	24	24	20	20	19	19		84
25	2958	江ノ島	GM	高橋 夏樹	石原 裕二		UFD	26	19	19	RET	26	21	21		92

2017年 テーザー級西日本選手権総合成績

2017年7月9日

Entry No.	Sail No.	フリート ／水域	クラス	乗員		レース						合計	順位
				スキッパー	クルー	1		2		3			
						着順	得点	着順	得点	着順	得点		
22	2741	江ノ島		伊藤 一石	本吉 夏樹	1	1	1	1			2	1
11	2395	江ノ島	M	本吉 譲治	三苫 稔尚	2	2	2	2			4	2
5	2669	大阪北港	GM	池田 俊則	秋吉 寿美子	3	3	8	8			11	3
6	2219	琵琶湖	GM	北村 重雄	秋山 紀夫	11	11	3	3			14	4
3	2653	大阪北港	SGM	多田 幸男	九富 潤一郎	5	5	10	10			15	5
8	2726	芦屋	M	村山 豊	富田 博之	6	6	11	11			17	6
16	2670	芦屋	SGM	内村 祥史	安澤 厚男	14	14	4	4			18	7
17	2705	芦屋	M	植田 泰平	植田 典子	4	4	14	14			18	8
2	2719	大阪北港	M	石川 光輝	泉 香月	8	8	12	12			20	9
10	2716	江の島		小林 正季	富部 柚三子	18	18	5	5			23	10
13	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	国武 一樹	17	17	6	6			23	11
15	2573	大阪北港	M	荒岡 晃彦	玉置 淳	10	10	13	13			23	12
7	2866	芦屋	M	渡辺 克充	中野 佳代子	15	15	9	9			24	13
19	2208	芦屋	M	南屋 恵美子	長 義晴	9	9	16	16			25	14
4	2593	稲毛	GM	亀山 寛達	小澤 拓身	19	19	7	7			26	15
18	2748	葉山		米本 隆	鬼塚 一浩	12	12	15	15			27	16
20	2810	芦屋		西村 純	西村 元	7	7	OCS	23			30	17
21	2655	芦屋	GM	岡本 憲二	蜂須賀 弘美	13	13	18	18			31	18
1	2861	大阪北港		三輪 記裕	中山 弘幸	16	16	17	17			33	19
14	2623	芦屋		黒谷 豊	武田 将利	21	21	19	19			40	20
9	2676	芦屋	GM	荒川 徹	松浦 裕子	20	20	20	20			40	21
12	2458	蒲郡		中村 俊平	宇佐美 翔大	DNC	23	DNC	23			46	22

2017 テーザーミッドサマーレガッタ

2017年8月26・27日 猪苗代湖志田浜

	Entry No	SailNo	Skiper	Crew	Crew	Fleet	Class	第1レース			第2レース			第3レース			合計	CUT	NET	順位
								着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点				
1	5	2748	米本 隆	野嶋 嘉昭		葉山	M	1		1	1		1	4		4	6	0	6	1
2	2	2745	関口 真秀	上松 慮生		江ノ島	M	4		4	2		2	2		2	8	0	8	2
3	4	2880	池田 陽平	米山 和希		稲毛		3		3	5		5	1		1	9	0	9	3
4	1	2719	石川 光輝	石黒 克司		大阪北港	M	2		2	4		4	5		5	11	0	11	4
5	3	2881	軽部 竜也	軽部 香		稲毛	M		DNS	6	3		3	3		3	12	0	12	5
スタート時間								9:42:00			10:45:00			11:33:00						
風向・風速								130° / 1~2m			130° / 2~5m			130° / 2~5m						

委任状

(送付先： 国内事務局 植田 泰平 jta-information@tasarjapan.org または
FAX.0742-51-7365)

私は、2017 年度日本テナー協会年次総会の議決権を下記の通り委任いたします。

2017 年 月 日

受任者 氏名： _____ フリート： _____

(※上記受任者が当該年度の日本テナー協会会員であり、本年度総会に出席することを事前にご確認願います)

委任者 住所・連絡先： _____

氏名： _____ 印 フリート： _____

日本テナー協会 会長 田中郁也 殿